

1992

№4 (1992) №

1992

(1992)

(1992)

(1992)

№

(1992)

(1992)

(1992)

:

R

1988 12

1992

1992

1992

1992

1992

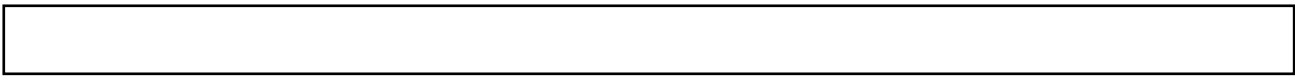
1992

1992

1992

1992

(1992) 0.318 0 12.5(54 (8) 16.4.3 (13.8) 0.5 (157) 15.8 (,) 8.2 (117) 18.8 (13.8) 0.3



for Iron Powder, "SKIP"

要旨



Operation

クルの確立

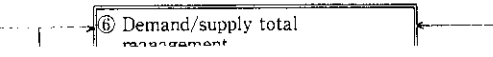
(3) 可視性・柔軟性

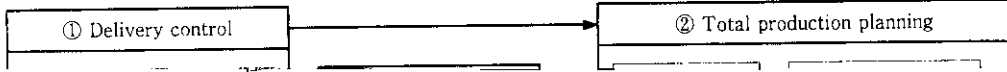
標準化の推進と基準値のデータベース化によるシステムメン

⑤ Shipping quantity forecast

⑥ Demand/supply total management

⑦ Total evaluation and analysis





ている。

4.3.6 工場操業監視・情報収集

(5) 現品管理

全ての現品の仕分け管理が可能となり、かつ適性保有在庫量と

業情報収集および操業実績管理が主機能で、操業のベースをサポートしている。これらの情報は、最終的に上位大型コンピュータに蓄積され総合的な統計処理が利用され、操業技術の向上のほか、

適合品や仕掛品の削減促進に寄与。

(6) 工場操業監視

操業管理レベル向上とコスト削減から品質の安定に寄与

の業務効率化に寄与している。

4.3.7 総合実績管理

(7) 総合実績管理

原料・製品までの一貫管理可能化によるつくり込み技術と生産